

決算審査に対する各議員の態度

※認=認定

種類／番号	件 名	氏名	議決権者																		
			正	止	勝	彦	広	久	敏	辰	信	研	保	英	紀	元	シ	示	重	チ	克
9月定例会		結果	○=賛成 ●=反対																		
認 第 1 号	平成24年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○				
認 第 2 号	平成24年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○				
認 第 3 号	平成24年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
認 第 4 号	平成24年度高浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○				
認 第 5 号	平成24年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
認 第 6 号	平成24年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○				
認 第 7 号	平成24年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○				
認 第 8 号	平成24年度高浜市水道事業会計決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○				

※ 内藤皓嗣議員は、議長職のため表決権はありません。



陳情・意見案

陳情及び意見案の件名は、6ページの「陳情・意見案に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

【陳情第3号】
【趣旨採択】 義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充は賛成で、文科省が少人数学級の推進や計画的な定数改善が検討されている。

【賛成】 子どたちがどこに住んでいても教育の機会均等に一定水準の教育を受けられることは、父母の願いであります。

9月定例会に陳情4件が提出され、福祉文教委員会に付託・審議され、本会議の場において採決されました。

つても公の教育であるとの捉え方から行われている。陳情の内容は拡充や充実を求めているが、国の財政が厳しいのが現状である。

【賛 成】 公私間格差が教育の機会均等を損なっている現実がある。

【陳情第5号】

【趣旨採択】 私立高校の置かれている厳しい状況も理解できるが、県の財政も厳しい中であるので、拡充は難しい。

【賛 成】 学費の公私間格差が学校選択の障害となつて、教育の機会均等を損なつて、また国からの財政措置を下回る状態が続いている。少子化も重なり多くの私立高校の経営は深刻である。

【反 対】 所得制限はあるが、近隣市と比べて、補助額は手厚い。

【趣旨採択】 補助額は手厚いが、教育や子どもも施策はさらなる拡充が必要である。